

一般社団法人 国家ビジョン研究会主催 シンポジウム

アジア・太平洋の戦後70年と今後

- 明らかになってきた中国の長期戦略 -

これまでわが国の近隣外交はアメリカの中国に対する対決姿勢の揺らぎによって大きく影響を受けてきました。一方、中国は鄧小平の遺言から抜け出し政治、経済両面にわたって世界に新秩序を打ち立てようとの長期戦略を少しずつ明らかにしています。戦後70年の日本を振り返り長期的展望に基づいて、あるべき日本の外交政策の途を模索していきます。

日時：平成27年10月 1日(木) 14:30受付 15:00-18:00

場所：衆議院第一議員会館 1階 多目的ホール

東京都千代田区永田町2-2-1

プログラム

- 15:00 開会挨拶 中西真彦 (一般社団法人国家ビジョン研究会 代表理事)
15:10 来賓挨拶 城内 実 外務副大臣 (予定) 他
15:30

パネルディスカッション

パネリスト



渡辺利夫
(拓殖大学総長)



宮家邦彦
(キャングローバル戦略
研究所 研究主幹)



石平
(日中問題評論家)
(拓殖大学客員教授)



山田吉彦
(東海大学海洋学部 教授)

コーディネーター



湯浅 博
産経新聞 特別記者

- 17:30 質疑応答 フロアーからの質問受付
17:55 閉会の辞 岩浅昌幸 (筑波大学准教授)
18:00 閉会

参加お申し込みは

一般社団法人 国家ビジョン研究会のHPから。または、下記のFAXで！

<http://kokka-vision.jp/> FAX 03(6459)8184

FAXの方は氏名・電話番号・所属(勤務先・団体・学校)を記入して下さい。